

若者施策の新事業「千葉市こども・若者動画編集部（第1回）」を開催します ～千葉市こども・若者会議からの提案を事業化しました～

千葉市では、市の情報が届きにくい若者への発信力を強化するため、若者が主体となり、市の魅力や地域資源を自らの視点で発掘し、市のPR動画を制作・発信する「千葉市こども・若者動画編集部」を立ち上げます。

このたび、6月21日（日）に第1回ワークショップを開催しますので、お知らせします。

1 「千葉市こども・若者動画編集部」の概要

（1）目的

若者が主体となり、千葉市の魅力や地域資源を発掘し、同世代にとって身近でわかりやすい形で発信することで、若者への情報発信力を強化します。また、編集部の参加者においても、企画・撮影・編集といった制作過程への参画を通じて、市政や地域への関心を高め、市の魅力や施策への理解促進を図ります。

なお、本事業は、令和7年6月に設置した「千葉市こども・若者会議」の参加者からの提案を受けて具体化したものです。

（2）参加者

19人（公募した千葉市内在住、在学の中学生から概ね25歳までの若者）

（3）主な取組内容

- ・企画づくりや撮影、編集のポイント、情報発信に関するリテラシーを学習
- ・フィールドワーク等を通じ、若者ならではの発想や視点を生かして、本市の魅力や地域資源をテーマとした動画を制作
- ・制作した動画を編集部専用ホームページに掲載し、広く発信

（4）運営（委託事業者）

株式会社ナベックス（映像専門会社）

2 第1回ワークショップについて

（1）開催日時

令和8年6月21日（日）14：00～17：00

（2）場所

市役所1階 正庁

（3）内容（予定）

- ア オリエンテーション
- イ スマホのカメラで一発撮り（ワンカット）動画をつくろう
- ウ 自分たちのYouTubeチャンネルを開設
- エ 自己紹介動画を公開（限定公開）

3 年間プログラム（予定）

ア 第1回～第4回ワークショップ

- ・スマホ1台から始める「伝える技術」
1分間の自己紹介動画を通じ、動画の3部構成（頭・中身・まとめ）の基礎を学びます。
- ・専門家による「プロの視点」の導入
映画カメラマンから撮影技法を、弁護士から著作権や肖像権などの情報リテラシーを学びます。
- ・チーム体制による役割分担の経験
監督、カメラ、編集など、役割を分担して市職員へのインタビュー動画などを制作します。

イ 第5回～第8回ワークショップ

- ・社会とつながるインタビュー実践
登録者多数のYouTuberからコツを学び、一般市民への取材を通じて対話力を磨きます。
- ・地域課題をテーマに本格ロケ
「千葉市の魅力と課題」をテーマに自ら企画・取材交渉を行い、撮影を行います。
- ・試写会による多角的な評価と発信
完成した動画を参加者全員で視聴し、内容の伝達力や制作者の個性を互いに評価し合います。

4 当日の取材について

- (1) 取材を希望する場合は、6月19日（金）17：00までに、こども企画課こども若者支援室 (kowaka-shien@city.chiba.lg.jp) 宛てに電子メールで、社名、ムービー／スチールの別、担当者名、取材人数、電話番号をご連絡ください。
- (2) 会場内では自社の腕章をご着用ください。
- (3) 写真・ムービーへの映り込みを含め、取材を希望されない参加者へのご配慮をお願いします。

<参考>こども・若者会議について

令和7年4月の「千葉市こども・若者基本条例」の施行にあわせて、こども・若者の意見表明の機会を確保するとともに、こども・若者の意見を聴き、市政に反映させる取り組みとして、同年6月に「こども・若者会議」を設置しました。

○市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kikaku/kowaka-kaigi.html>

